



電車どおり

平成31年2月25日発行 第162号 函館中央病院 発行責任者 本橋 雅壽



総合周産期母子医療センター、北海道がん診療連携指定病院、北海道小児地域医療センター、日本医療機能評価機構認定施設

- 基本方針
- 道南の基幹病院として急性期医療に取り組みます。
 - 断らない救急医療を実践し、住民の信頼と期待に応えます。
 - 総合周産期母子医療センター及び北海道がん診療連携指定病院として高度で専門的な医療を提供します。
 - 「患者さまの権利」を尊重し、安心して安全なチーム医療を実践します。
 - 医療環境の発展と充実のため、地域の行政・医療機関との連携を強化します。
 - ワークライフバランスに配慮した職場環境づくりと人材育成に力を入れます。

第22回市民公開講座開催のお知らせ

『大腸CT検査について』

～内視鏡検査とは違った方法で

大腸がんを探す検査です～

第22回市民公開講座を開催致します。今回は、平成30年12月発行の電車どおり第160号で特集した『大腸CT検査』をテーマに開催致します。

お腹が痛い、便に血がついている。もしかしたらそれは大腸がんかもしれません。大腸がんは日本人のがんの死亡数第2位で、その原因は、なかなか自分が大腸がんになっていることに気がつかず、発見が遅れてしまうことが挙げられます。大腸がんを探すとき、一般的に精密検査としては内視鏡を用いた検査が挙げられますが、精密検査の受診率は低く、検査に対して痛く苦しいものだと思っている方が多いためだと考えられています。

今回の公開講座では、『大腸CT検査』という内視鏡検査とは違う方法で大腸がんを探す検査について、そのメリットやデメリットも含めながらご紹介致します。これから大腸がんの検査をお考えの方や内視鏡検査がつかかった経験をお持ちの方など多くの方にご来場頂ければと存じます。

＜第22回市民公開講座＞

- 開催日時：平成31年3月26日(火)
13時から14時(会場12時30分)
- 開催場所：当院南棟8階 講堂
- 内容：大腸CT検査について

講師 当院診療放射線技師 川村 優貴

どなたでもお気軽にご参加出来ます。(無料・事前申し込み不要)



中央・病・院・前



何事も今より良くなり、たいと考え行動するものですが、自分自身だけのことであれば、その行動も自分次第で完結します。しかし、相手や第三者が関わってくる場合はそう簡単にはいきません。自分にとって良いことが相手や周囲にとって必ずしも良いこととは限らないからです。もしも自分と同じ方向を向いてくれた相手が良い結果を得られたなら、それはとても素晴らしいことです。相手(相手の心)を動かす為には、お互いを尊重し合い信頼関係を構築しなければなりません。私たちの日常では一人で物事を解決することは多くありませんし、価値観もそれぞれです。一方通行とならないコミュニケーションが必要ですね。

函館市では数少ない糖尿病専門医に

日本糖尿病学会糖尿病専門医



PROFILE

板谷 利 (いたや さとし) 内科医長
2008年 旭川医科大学医学部卒
北海道がんセンター、北海道大学病院、KKR札幌医療センター、岩見沢市立病院などで診療に従事。北海道医療大学病院講師を経て、2018年4月より当院内科医長として勤務。

当院内科の板谷利医師が「糖尿病専門医」となりました。これまで函館市内では糖尿病専門医が4名と少なく(日本糖尿病学会北海道支部HPより※2018.10時点)、板谷医師が5人目となります。今後も道南地域の皆さまのために、糖尿病診療の向上や糖尿病予防の普及に尽力してまいります。糖尿病をはじめ何かお困りの際は是非ご相談下さい。

明日の看護につなげます!

看護師は、看護を通じて患者さまから多くの学びを得ております。患者さまは、病状はもちろんですが、家庭環境や抱える不安もそれぞれです。看護師は看護経験のなかで「患者さま個々に合った看護」を実践するために、日々勉強し成長します。先日、若手看護師が集まり、これまで関わりを持たせていただいた患者さまについての看護ケアの方法やその改善点などを検討する勉強会を開催しました。スタッフは看護の質向上に向け、「心の通う看護」を目指し日々取り組んでまいります。



患者さま満足度調査結果報告

患者さまのニーズにお応えできるよう
責任をもって改善を進めてまいります

調査概要	
実施期間	入院：平成30年11月1日～11月30日 外来：平成30年11月5日～11月17日
有効回答数/回収率 ()内は配布枚数	入院：327枚(500枚) / 65.4% 外来：1,533枚(1,534枚) / 99.9%

当院では例年、患者さまのご意見や思いを病院運営に反映させる目的で「患者さま満足度調査」を実施しています。昨年11月に実施した調査結果の概略を報告いたします。調査にご協力いただきました患者さま、ご家族の皆さまに当紙面を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

今回の調査結果ですが、「全体としての函館中央病院についての満足度」については、入院・外来患者さまともに、昨年度と比較し、小幅ではありますが向上しております。

しかしながら、「外来診療にかかる待ち時間」や「駐車場についての様々」、「職員の接遇について」などについては不満や厳しいご意見を多数いただいております。責任をもって改善に努めなければならないと痛感しております。

患者さまの満足度向上、医療の質向上、そして、職員の意識改革を目的とし、今回の調査結果を全職員に共有いたします。患者さまの視点から現状のサービスを見直し、設備面は改善できるところから着実に対応し、接遇面では職員ひとりひとりのレベルアップに努め、今後も皆さまのご期待にそえるよう、「心ある医療」を提供するべく、努力を続けてまいります。

今回の調査でいただいたご意見や、日々いただいております「患者さまの声」に投函されたご意見をもとに行いました、主に設備面の改善事例について報告させていただきます。

外来車いす用トイレに紙おむつ専用ごみ箱の設置

各棟1階・2階にあります「車いす用トイレ」のごみ箱につきましては、蓋付きのポリバケツにビニール袋をかぶせたものや、普通の小型ゴミ箱の設置と統一がなされておりました。この度、衛生面を考慮し、足で踏むとフタが開くタイプの「紙おむつ専用ごみ箱」に置き換えました。



ATMコーナー入口ドアのすりガラス化

「操作している手が外から見える」というご指摘を受け、通常のガラスドアに「すりガラスシート」を貼り付け、プライバシーに配慮しました。



【通常のガラスドア】

【すりガラスシート貼付後】

「患者さま満足度調査」の実施は年に一回ですが、各病棟のデイルームや、救急患者出入口付近・図書コーナー等に「患者さまの声」投函箱や記入ブースを設置しておりますので、お気づきの件がありましたら、ぜひお聞かせいただきますようお願いいたします。ご意見等への回答や対応については、院内掲示や広報誌への掲載という形でフィードバックさせていただき、患者さま・ご家族には当然のこと、職員にも周知する仕組みを作っております。患者さまにおかれましては、ご不便をおかけする点もあるかと存じますが、患者さまや利用者さまの利便性向上のため、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

患者サービス委員会事務局（経営企画課） 相馬 誠

引き続きインフルエンザにご注意！

インフルエンザが流行しています。インフルエンザは通常の風邪と異なり、肺炎などすることがあります。引き続き、インフルエンザの予防を心がけましょう！

- ✓ インフルエンザは、感染した患者さまの飛沫の中に含まれていて、飛沫は1～2mの範囲まで飛びます。咳をしている人が鼻と口を覆うようにマスクを着用することで、飛沫の飛び散りを防ぎます。
- ✓ マスクをしていると自分の呼吸で保湿され、喉の乾燥を防ぐことができます。
- ✓ マスクの表面はインフルエンザウイルスで汚染されているので、手で触ると手が汚染される可能性があります。
- ✓ 手洗いは、石けんと水道水で行うものと、手指消毒剤（アルコール）どちらでも有効です。
- ✓ 咳や痰が気になる方はうがいをするのも1つの方法です。

お手軽プチ検査

プチ検査は手軽に検査をお受けいただけるように、予約不要で券売機にて検査券をご購入いただけます。

券売機は1階正面ロビー総合案内近くに設置しております。ちょっとした空き時間などにもご利用頂けます。



【患者さまの権利】

- ・安全で良質の医療を平等に受ける権利
- ・自らが受けている医療について、十分な説明を受け、知る権利
- ・セカンドオピニオンを求める権利
- ・自らが受ける医療に参加し自己決定する権利
- ・個人のプライバシーが守られる権利
- ・個人として常にその人格、価値観が尊重される権利

【患者さまの義務】

- ・自らの健康状態を医療者にできるだけ正確に知らせる義務
- ・医療者の説明や自らの疾病状態の理解に務める義務
- ・病院の規則や医療者の指示に従い、医療に参加・協力する義務
- ・他の患者さまの治療や医療者の業務に支障をきたさない義務
- ・受けた診療に対し、医療費を支払う義務



『電車どおり』では、皆さまのお役に立ちそうな情報をどんどん掲載していく予定です。記事に対するご要望などがございましたら、広報誌担当事務局までお問い合わせ下さい。 連絡先：TEL 0138-52-1231（内線2263）

次号発行予定は3月25日です。お楽しみに！！